

# 令和2年度 第4回千葉県臨床検査技師会 血液検査研究班 研修会

日時：令和2年12月4日（金）～12月25日（金）

開催方法：Googleドライブによる録画web配信

テーマ：『患者さんのために、今日からできること』

講演1 シリーズ2-1 自動血球計測装置の基礎（約30分）

順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科 澤田 朝寛 技師

講演2 シリーズ2-2 自動血球計測装置のピットフォール（約30分）

順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科 澤田 朝寛 技師



## 第4回千葉県臨床検査技師会\_血液検査研究班\_研修会

お待たせ致しましたweb研修会を開催します！  
開催期間中はオンデマンド配信で、何回でもご覧いただけます。

開催期間：12月4日（金）～12月25日（金）

テーマ『患者さんのために、今日からできること』

講演1 シリーズ2-1 自動血球計測装置の基礎（約30分）

講演2 シリーズ2-2 自動血球計測装置のピットフォール（約30分）

事前にお伝えしました  
WEBセミナー視聴の注意事項をよく読んでから研修会にご参加ください。

WEBセミナー視聴の注意事項

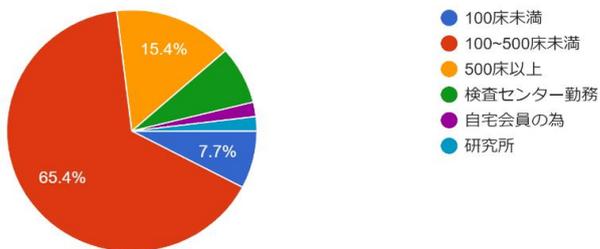
1)動画の録画・書き保存禁止

2)課題回答により生涯教育の付与

## アンケート結果（回答 ～52件）

### 1.あなたの勤務先の病院規模はいくつですか？【必須】

52件の回答



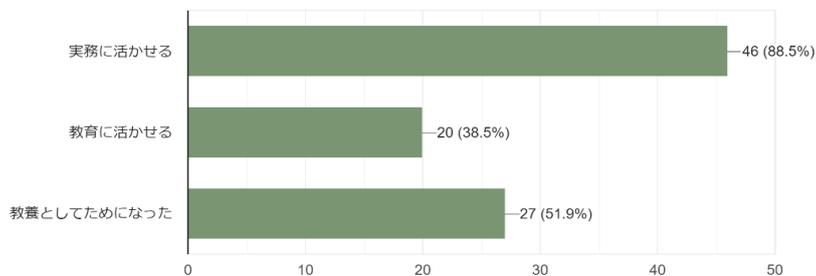
### 2.あなたの血液検査経験年数は何年ですか？【必須】

52件の回答



### 3.研修会内容についてどのような印象をお持ちですか？（複数回答可）【必須】

52件の回答

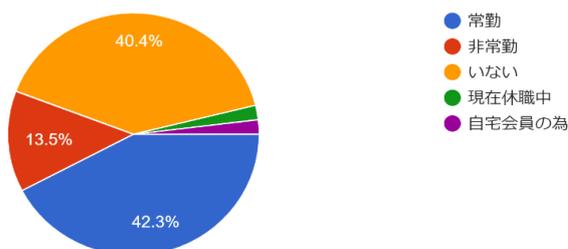


上記の理由をお聞かせください 24件の回答

<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な内容の講演だったから</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパー（強い）血小板凝集が疑われる場合に測定用試薬にて希釈することで凝集が解消されることがある</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>症例があることを知れたため。検討を行う際の考え方が非常に勉強になりました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニ並みに一人で何でもしなきゃ業務が回らない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>血液疾患の患者検体を取り扱う上で、とても重要な講演内容と思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>当直における血液検査業務で活かせるため</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の検討や、日常報告のピットホールについてよくわかった</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床の現場で異常なデータが出た場合に適切に対処できると考えたため。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の新規導入を考えているため</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>次回に装置を更新する時には、是非目視法との検討をしてみたいと思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎から実症例まで網羅されている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>検査現場で起こりやすい事例（血小板凝集等）などで原因、対象法を初心者の自分でもわかりやすくまとめていただいていた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>機器購入を検討する際に活かせると思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>機器選定は会社指定機種のため検討を行ったことがないので教養として参考になった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に異常値に直面した時の判断材料となるため。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>強乳び検体や破碎赤血球、血小板異常高値など業務で遭遇する事のあるものに対する対処法を学ぶことができたので、今後反映させていきたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>血液検査のキャリアの差があっても、それぞれの立場で勉強になる内容でした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に日常業務で起こるような事例や、症例などについての研修会内容が多いので、実務・教育に活かせると思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>目視率が高いので今回の研修を参考に検討を開始しています</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にあった症例での検討、対処法が参考になった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>血液検査は、専門でないため。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>異常値が出た時の対応方法を知ることができたため。</li> </ul>
<p>機器の検討は先生のおっしゃる通り最近ではメーカーさんに依頼することが多くなっています。自ら検討することで機器がより理解することも出来ますし、色々な問題に出くわしたりしながら経験を積んでいくことも必要と思いました。ピットホールについても分かりやすい御説明と非常に観やすいスライドで大変勉強になりました。ただ検査結果を報告すればいいのではなく、さらに深く検体に向き合っていきたいと思いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>機器原理や統計学的な分野は、私自身も苦手とし、詳しく教わる機会もなかなか持てません。今回の研修会は日頃機械の判断に頼り過ぎていないことに気付き、再度見直すきっかけになりました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>血液検査担当する機会が少ないので</li> </ul>

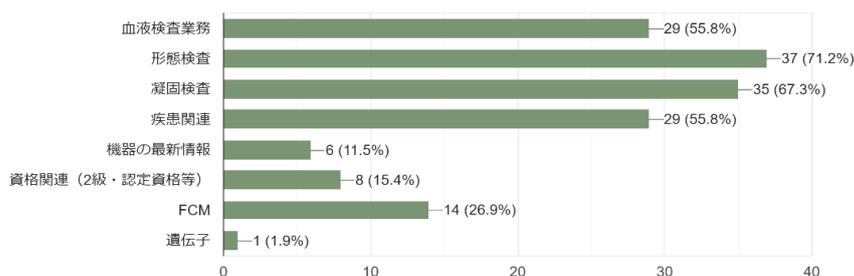
4.ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されておりますか？【必須】

52件の回答



5.今後の血液研修会の内容について、一番関心が高いものはなんですか？（複数回答可）【必須】

52件の回答



## 6. 今後、希望する研修会のテーマ7件の回答

- ・ ISO 15189関連
- ・ スキャットグラムの見方と日常業務で確認した方がよいポイントがあればご教示頂きたいです。
- ・ 血液内科のない施設においての血液疾患が疑われる事例。報告方法とか。
- ・ 初心者のための血液形態学
- ・ 凝固、形態学的知識
- ・ 未経験者でもわかるフローサイトメトリーの基礎 凝固検査の異常値に対する対処（疾患との関連など）
- ・ 凝固検査。ここ2ヶ月以内くらいですが、当直時、採血後すぐに攪拌したのに凝固の検体のみ（だったと思います）すぐに凝固してしまうと先生から問い合わせを受けたことがあります。患者さんが低体温（31～32℃）である情報をいただきました。低体温で検体の性状に影響出たのでしょうか。

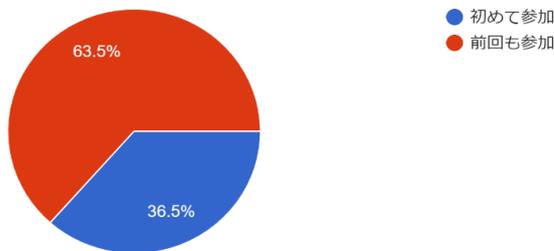
## 7. 日常業務で困ったこと 4件の回答

- ・ 血液標本作成において引き終わりに白血球が集まり過ぎてしまう。上手く白血球を分散させるコツがあれば教
- ・ 白血球の百分率で単球とリンパ球の判別が難しかった。
- ・ 今回も紹介いただきましたが、血小板が1時間放置後に乖離する検体のと乖離しない検体に特徴などはあった
- ・ なかなかルーチンで血液検査担当することが少ないので、間違いがあった時に気づけるのが不安。

## WEB動画配信研修会に関するアンケート

### 1.千臨技 血液 WEB研修会の参加頻度【必須】

52件の回答



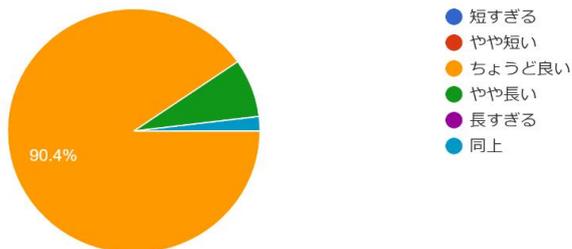
### 2.研修会の長さ シリーズ2-1【必須】

52件の回答



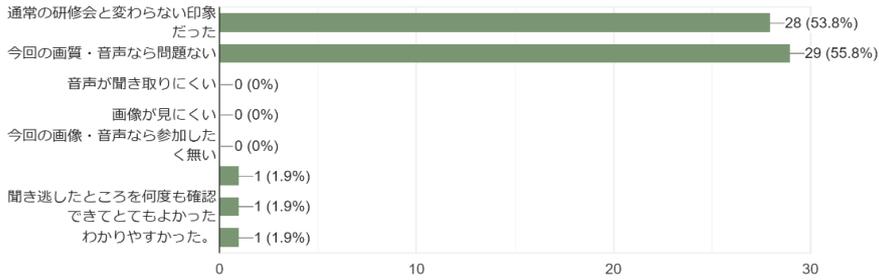
### 3.研修会の長さ シリーズ1-2【必須】

52件の回答



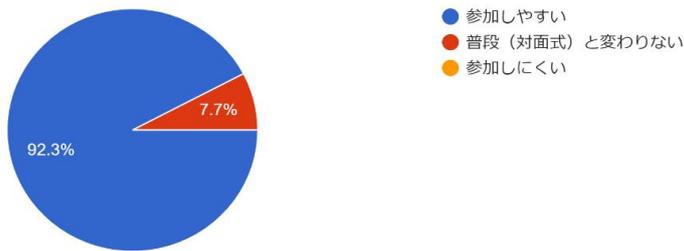
4.画像・音声などに問題はありましたか？【必須】

52件の回答



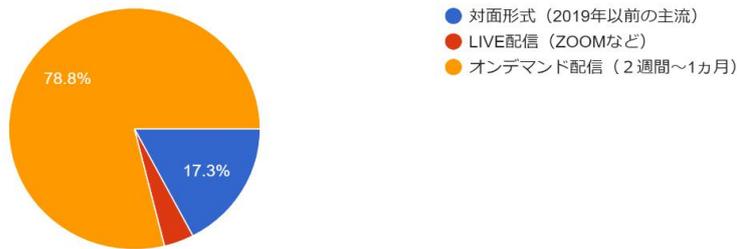
5.今までの研修会（対面式）と比較した参加しやすさ【必須】

52件の回答



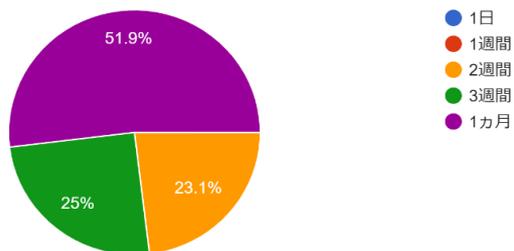
6.研修会はどの形式が一番ですか【必須】

52件の回答



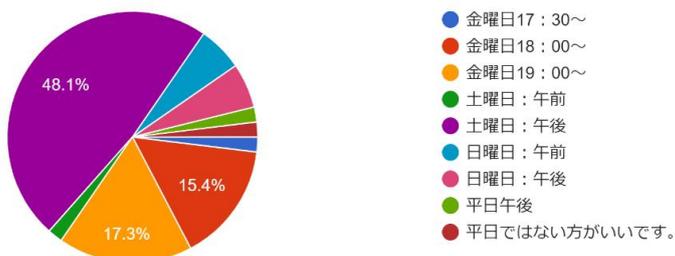
7.オンデマンド希望配信期間【必須】

52件の回答



8.LIVE配信（ZOOMなど）の希望日時【必須】

52件の回答



7. 血液検査研究班になにかご意見ございますか？11 件の回答

・	お忙しい中研修会を準備していただき、ありがとうございます。
・	多染性赤芽球と形質細胞の鑑別が出来るようになりたいです！
・	短期間に複数の研修会を開催していただき非常に感謝しております。千葉県血液研究班の研修会は内容が非常にわかりやすくとても勉強になります。研修会の開催は準備や企画等非常に大変かと思われませんが、今後も定期的に開催していただけると嬉しく思います。これからもよろしくお願い致します。
・	貴重な講演ありがとうございました。
・	今回のWEB研修会を初めて参加させていただいたのですが、スライドや澤田先生の解説が大変分かりやすかったです。前回の研修会不参加だった為、過去のセミナー動画も見れるようになるとありがたいです。
・	初心者向けで分かりやすい内容になっているので助かります。
・	血液研究班の研修会は実施回数も多く、HPへの資料掲載など凄いなと思っていました。内容も多彩ですね。今回もeラーニングのようでした。澤田さんのお話は聴きやすく内容が濃かったので、何回か繰り返して聴いてみたいと思います。ありがとうございました。
・	いつもありがとうございます
・	日常業務の大変お忙しい中、WEB研修会を開催して下さいありがとうございました。御準備等大変だと存じますが、なかなか対面式の研修会ですと参加出来ませんでしたので、今後もWEB研修会を継続して頂けると幸いです。よろしくお願い申し上げます。
・	血液検査研究班の研修会は毎度充実した内容で大変勉強させて頂いてます。準備等本当にお疲れ様です。次回以降もぜひよろしくお願い致します。
・	できたら研修会の資料がほしいです。